



たなか ひろし  
**田中 博委員**  
(園部町)

### 知恵を出し合い将来に 誇れるまちを創造しよう

地方分権、行財政改革等の一環として取り組んできた4町合併問題も、平成18年1月1日に南丹市として発足します。4町住民が一つになったことを認識し、幸いに思い将来に向けての自分たちのまちづくりに知恵を出し合い、合併して良かったと将来に誇れるまちを創造していきたいものです。希望の持てるまちづくりは、住民一人一人の思いにかかっています。他人任せでなく、自分達の知恵で創造しましょう。4町の独自性と恵まれた自然環境を生かし郷土を活性化したいものです。生活圏が拡大しても、新市の地域間に格差がなく、平等に行政サービスが享受できる施策と、執行する組織体制の確立が重要です。地域の枠を越えて広く若い人材を登用し、斬新な発想と経験豊富な諸先輩の知恵を融合させて、将来像を描くことが大事です。行政と多くの住民が一体となって、新市発展の為に積極的に参画してほしい。



ふくしま としお  
**福嶋 利夫委員**  
(八木町)

### 民主的な新市の 実現を

紆余曲折を経て、なんとか合意に至った4町の合併協議でありましたが、この合併が4町それぞれの住民にとって『本当に合併して良かった』と言えるものにしなければなりません。一極集中のまちづくりよりも、まず4町それぞれの特徴を生かした、周辺部にも目の届く新市づくりが必要だと思います。1,374項目に及ぶ協定事項がきちんと実行されると共に、独断ではなく、若い人たちや女性その他あらゆる立場の人が、誰でも自由にのびのびと物が言え、話し合いが出来、反対意見や少数意見であっても聞く耳を持たれる民主的な新市の実現を期待いたします。そのためにも、住民一人一人が無関心であったり、人任せにするのではなく、将来に希望の持てる開かれた明るい新市の建設に、お互いに協力しあい、前向きに積極的に取り組みたいものです。



よした のりこ  
**吉田 紀子委員**  
(日吉町)

### 新市をみんなの力で

南丹市誕生まで4ヵ月余り。多くの方々にご応募いただいた市章の選定委員会も開催され、南丹市誕生に向けて着々と準備が進められているところです。合併準備局でも昨年度の協議会の内容を受け、今年度からは実務段階での協議が急ピッチで行われていることと思います。大筋の協議内容から、一つ一つの実務の検討で膨大な作業です。そのうえ、誰もが頭を抱えるような難しい問題。なにしろ、サービスは現状維持して、行政事務等のスリム化を図るといった一見相反する目標を掲げた調整。いったいどう調整するのか…本当に大変なことです。そんな難しい協議を、通常業務をしながらしていただいております担当者さんには、まことにご苦労様ですが、あらゆる角度から検討され、将来みんなが納得できる調整をお願い致します。そして、みんなの力で南丹市を充実した、よい市にしてゆきましょう。



おおまき よしお  
**大牧 義夫委員**  
(美山町)

### 若者定住・子育て 支援を市政の基本に

新市構想が議論されたときに、住民アンケート調査が実施されました。最も多かった意見が「若者の定住」できる都市や生活基盤の整備のほか「子育て支援策」の充実がありました。少子化や過疎化が進行する現状において、新市行政の基本に据えていただきたいことです。今の各町は、それぞれ歴史的な経過を経て、特色を備えています。その特色を理解し合い、互いに共有できてこそ、新市の一体感が醸成され、「ぬくもりのあるまち」が創造されていくでしょう。また、「ゆるやかな合併」が基本とされているのですから、こうした配慮ある市政となることを願っています。議論の末、「総合支所」が旧町に設けられます。生活に直結した住民サービスの低下を招かない行政が進められると同時に、4町の特徴を生かしたバランスある新市行政の推進が図られるものと期待しています。